



秋吉台における留学生を活用した インバウンド観光地の発掘

山口大学経済学部 教授 朝水 宗彦

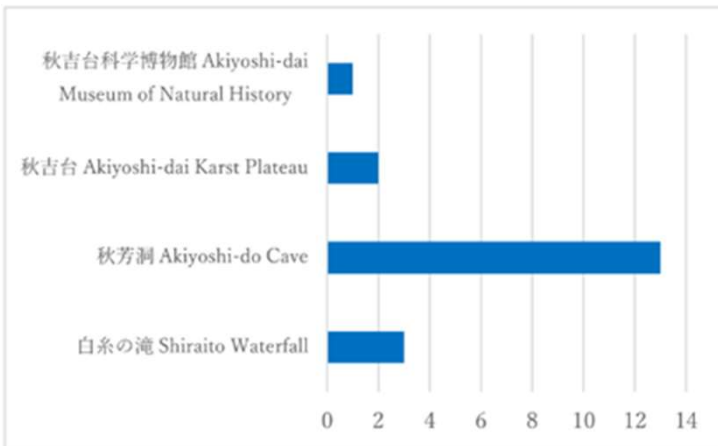
2024年1月27日に留学生とその家族による秋吉台周辺の観光地のモニタリングを行った。訪問後に簡単なアンケート調査を行ったが、参加者のうち、17人の回答があった。回答者の出身地は以下の通りである（表1）。

表1 アンケート回答学生の出身

中国 China	6
インドネシア Indonesia	7
ベトナム Vietnam	1
マレーシア Malaysia	1
タイ Thailand	1
バングラデシュ Bangladesh	1

訪問先は白糸の滝、弁天池、秋芳洞、カルスター、秋吉台、秋吉台科学博物館、道の駅みとうであった。アンケートの回答のうち、訪問して良かった場所は以下のとおりである（図1）。

図1 訪問して良かった場所（全体：複数回答）



いわゆる「鉄板」の観光地である秋芳洞の人气が一番高かったが、それほど知名度の高くない白糸の滝も次点で人気があった。このうち、参加人数が多かったインドネシア（図2）と中国（図3）の出身者を抜粋すると以下ようになった。

図2 訪問して良かった場所
（インドネシア：複数回答）

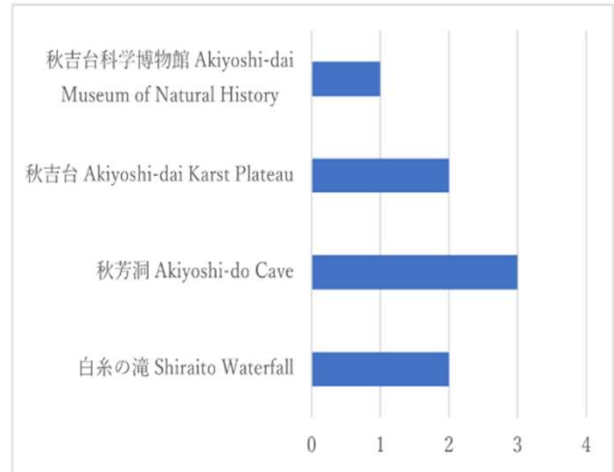
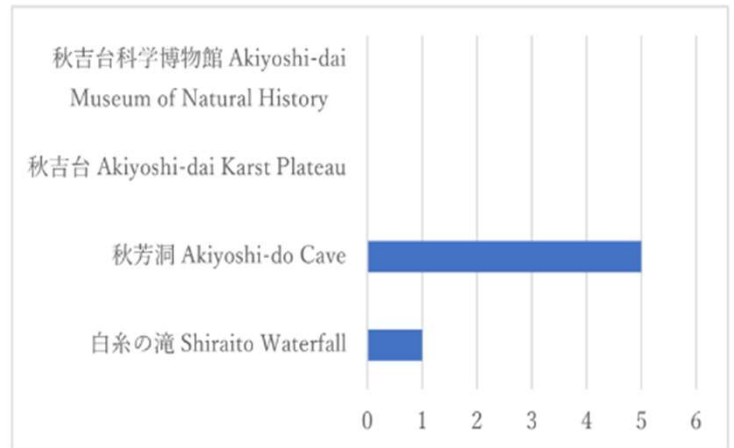


図3 訪問して良かった場所
（中国：複数回答）



インドネシアからの留学生のサンプル数が大きかったことの影響も考えられるが、秋芳洞以外の観光地の人気も比較的高い。インドネシアやマレーシアなどムスリムの旅行者は家族単位で行動することが多いので、一般的に言われるハラール対応に加え、白糸の滝のようなファミリー向けの観光地の整備も重要であろう。

参考文献

朝水宗彦 (2021) 「秋吉台の観光の可能性」

[https://www.ext.yamaguchi-](https://www.ext.yamaguchi-u.ac.jp/chiiki/chiikirenkei/akiyoshidai/new.academicv015.pdf)

[u.ac.jp/chiiki/chiikirenkei/akiyoshidai/new.academicv015.pdf](https://www.ext.yamaguchi-u.ac.jp/chiiki/chiikirenkei/akiyoshidai/new.academicv015.pdf)

森朋也 (2023) 「ポストコロナ時代における美祢地域のインバウンド観光」

[https://www.ext.yamaguchi-](https://www.ext.yamaguchi-u.ac.jp/chiiki/chiikirenkei/akiyoshidai/new.academicv019.pdf)

[u.ac.jp/chiiki/chiikirenkei/akiyoshidai/new.academicv019.pdf](https://www.ext.yamaguchi-u.ac.jp/chiiki/chiikirenkei/akiyoshidai/new.academicv019.pdf)